

国 語

注 意

1. 問題は全部で23ページである。
2. 解答用紙に氏名を忘れずに記入すること。
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 問題 **Ⅲ** は日本文学科・史学科・比較芸術学科受験者のみ解答すること。
5. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
6. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が1のとき)

1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
---	----------------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり、折り曲げたりしないこと。

次の文章を読んで後の問に答えよ。

トラクターとは、物を牽引する車のことである。

主として、農業用、工業用、軍用、林業用の四とおりの用途があるが、そのなかでもとくに農業用トラクターが本書の主人公である。以下、特別の断りがないかぎり、農業用トラクターのことをトラクターと呼ぶ(「トラクタ」という表記も多いがここでは「トラクター」で統一する)。

トラクターは、日本語で牽引車と訳される。少しだけ言葉遊びをすれば、トラクターの英語表記である tractor が、attraction (魅力) や extraction (抽出、抜歯) と同じ語源、ラテン語の trahere (引く) を持つように、トラクターをめぐる言語群には、「引く」「曳く」「牽く」以外に「惹く」という漢字をあてることもできる。

つまり、ロープであれ、鎖であれ、見えない赤い糸であれ、距離が離れて存在しているものをこちらに近づける、あるいは、くつついてくるようにする、という意味である。トラクターという機械がさまざまなものを牽引し、また、さまざまな人間を魅惑してきた、あるいは逆に悪夢へと巻き込んできたという意味では、意味深長なネーミングであると言えるだろう。

歴史に入るまえに、トラクターとはどんな機械なのか、もう少し説明を続けておきたい。物を牽引する農作業用の車といっても、それには、いくつか欠かせない特徴がある。

第一に、土壌と接する部分に車輪もしくは履帯を用いること。

車輪は、主として四輪だが、二輪や三輪のトラクターも存在した。また、一九三〇年代に鉄輪からゴムタイヤに移行し始め、車輪の周りに履帯をはめるトラクター(無限軌道型トラクターともいう)もまた、世界各地の農場で活躍した。

この履帯トラクターは車輪型よりも滑りが少なく、牽引力が大きいうえに接地圧が小さいのが長所だが、小回りが利かず、価格が高いのが短所である。履帯は「キャタピラー」(英語でイモムシの意)とも言うが、それは、一九〇四年に設立されたホルト社が他社と合併してできた会社名がキャタピラーだったことによる。イモムシのように地面を這って進むゆえに、このような愛称

が付けられ、商標に登録されたのである。

戦後のアメリカでの普及台数は、おおよそ、車輪型トラクターが八割に対し履帯トラクターが二割であった。いずれにしてもトラクターは車輪の回転によって前進、後進、あるいはターンをする機械である。

第二に、トラクターは、乗用型、歩行型、無人型の三種類に分類されること。

乗用型トラクターは、一人、場合によっては二人の人間が実際に乗って運転・作業をする。歩行型トラクターは、先の分類でいえば二輪トラクターであり、人間が歩きながら操作する。小回りが利くので、狭い土地に強い。最近では、カーナビや携帯電話にも使用されるGPS機能を用いたりリモートコントロールのトラクターの研究・開発が世界的に進められている。これを仮に無人型トラクターと呼んでおこう。

第三に、動力源をさまざまな作業に容易に接続できること。

たしかに、馬や牛を円に沿って何周も歩かせ、その力を歯車(古くは木製の歯車を用いていた)で伝達させて農作業に利用した例は世界各地で見られる。だが、トラクターの場合は、車輪の回転にあてられる動力を別の軸に移して、そこにベルトをつけ、脱穀などの動力として使用できるので、馬、牛、ロバ、ラバなどの生きもの(これをエキチク³という)を歩かせるスペースも、大掛かりな動力伝達装置も農場内に用意する必要がない。

第四に、動力源が筋肉ではなく、あるいは風力や水力や蒸気機関でもなく、内燃機関である、ということ。

トラクター登場以前の農業では、ほとんどの場合、犁^{すま}やそのほかの農具、さらには、収穫物や糞^{ふぼ}などの荷物を積んだ車を、エキチクが牽いていた。牽くのは人間自身の場合もあった。非生物であるトラクターは、生物の筋力の代わりに内燃機関内の燃焼の生み出す力によって犁を牽く。内燃機関の出現のまえに蒸気機関で犁を牽こうと試みた技師もいたがそれほど普及しなかった。これは原則としてトラクターとは呼ばず、「蒸気トラクター」と限定をつけて呼ぶのが普通であり、本書もその慣例⁴に倣う。

以上四点を総合すると、トラクターは、車輪か履帯のついた、内燃機関の力で物を牽引したり、別の農作業の動力源になったりする、乗車型、歩行型、または無人型の機械と言うことができよう。とりわけ、四点目の特徴である、トラクターが生きもの

ではない、という当たり前の事實は、トラクターの歴史を知るうえできわめて重要な事實である。ここでもう少し掘り下げておきたい。以下、農業で使用するとき、トラクターが馬、牛、人などの生きものと異なる点を五点にまとめてみよう。

第一に、トラクターは疲れないが故障をする。

あらゆる生きものは運動のあと休息と栄養補給が必要だが、トラクターは休息を必要としない。疲れないので、燃料さえ補給すれば、昼だけでなく、早朝や深夜でも動ける。実際、トラクターはその初期からライトが装着されており、夜間でも仕事ができると宣伝されていたし、実際に夜間も使用された。農繁期には疲れて痩せるのが家畜の宿命だったが、トラクターにはそれもない。

病気にも罹らない。馬や牛のように「今日は機嫌が悪いぞ、どうした？」と声をかけたくなる場面は少なくないけれども、客観的には感情を持たないし、どんなに悲惨な壊れ方をしても痛覚を持たないので痛みを覚ええない。ただし、馬や牛と比べて、当初は故障が多く、点火プラグの故障や防塵フィルターの汚れだけでもトラクターは動きを止める可能性がある。また、野外の不整地で用いる機械だけあつて消耗も激しく、牛や馬よりも頻繁に買い換えが必要である場合が多い。

第二に、飼料を与える必要がないが燃料を補給する必要がある。

トラクターは口や舌や消化器官を持たないので飼料を食べない。よつて、農場内に牧草を育てる畑を準備したり、牧草を他所から購入したりする必要がない。だが、一方で、燃料を購入しなくてはならない。草創期は灯油やガソリン、現在では主に軽油が使われる。トラクターは、温室栽培や穀物乾燥機と並んで、世界の原油価格の変動に農民が左右されるようになる一つの原因となったわけである。

また、金属どうしが擦れる面には潤滑油が必要であり、油をさすことを欠かしてはならない、と取扱説明書には必ず記してある。ただ、石油も植物の化石に由来する液体であるので、エキチク、トラクター両方とも植物が光合成によって蓄えたエネルギーを使用しているという意味では変わりがない。

第三に、排出物は排気ガスだけであり、それを肥料として用いることができない。

排泄物がないために、トラクターを収納する倉庫に藁を敷く必要もないし、藁と糞尿を毎日取り替えることもしなくてよい。洗ったり、土を取り除いたり、毎日のメンテナンスは必要であるし、結構時間のかかる仕事であるとはいえず、厩舎の仕事から農民を解放したことは、⁶トラクターの小さくない

A といえよう。

ただし、家畜の糞尿を肥料にできなくなるのは大きな欠点であった。とくに、藁や木屑と一緒に発酵させて、養分豊富な堆肥を作れない。それゆえ、他所から肥料を購入せねばならない。二〇世紀は化学肥料の急激な発達をもたらした世紀であるが、それはトラクターの普及と密接にかかわっている。トラクターと化学肥料は切り離すことのできないパートナーなのである。

第四に、重いゆえに土壤圧縮をもたらす。

馬力のあるトラクターを一台所有するだけで、複数の馬の仕事をごなせる。たとえ広い土地であつても、馬や牛を複数連結させて耕さなくてもよくなる。ただ、トラクターの構成要素はタンパク質ではなく、鉄がほとんどであるので、重い。重いと土壤を圧縮する。圧縮は土壤を劣化させる。

土壤は、空隙があつて、水を溜めやすく、微生物が棲みやすい環境であると肥沃になる。空隙を含むふかふかの状態の土壤構造を、土壌学の専門用語で「団粒構造」と呼ぶが、トラクターはそれを潰し、土壤から肥沃さ、つまり生命力を奪ってしまう恐れがある。とりわけ、初期のトラクターはとても重く、団粒構造に対する影響は小さくなかった。

第五に、乗ることができる、ただし、怪我をしやすく健康に及ぼす危険も少なくない。

牽引する馬や牛には人は乗らず、そばで共に歩き、エキタクの動きを制御して、耕耘作業を調整するが、乗用型トラクターに乗れば、農民は不整地を歩くことから解放される。けれども、馬や牛と違って、操作ミスが命取りになるケースが多く、不整地ゆえに転倒事故も珍しくない。運転手や周囲の補助員の死亡事故につながることも、いまなお絶えることがない。

また、振動と騒音が激しいので、長時間の使用は身体に悪影響を及ぼす。トラクターから動力を取り出す回転軸は服を巻き込んで、大怪我をもたらすこともある。わたしの乏しい乗車経験でも、トラクターの振動と騒音はしばらく体から離れず、疲れがなかなかとれなかった。耳栓をすることが勧められているのも、こうした事態に対応するためである。

以上、トラクターの特徴をまとめてみたが、自動車や携帯電話などと同様に、手放したくない便利さを存分にもたらしてくれ
る一方、使い手に不利益をもたらす面もある。この二重性を、トラクターを論じる前提としておきたい。⁸

これまでの歴史学では、二〇世紀を代表する現象であるモータリゼーションは、もっぱら自動車を中心に語られがちであつた。たしかに、自動車と比べて、作業時のトラクターは遅く、スタイリッシュとは言いがたい。華やかさにも欠けるかもしれない。「二〇世紀の恋人」という自動車に与えられた称号は、トラクターにはふさわしくないかもしれない。

だが、トラクターがない二〇世紀の歴史は、画竜点睛を欠くと言わざるをえない。⁹

モータリゼーションは都市だけでなく、農村の風景も労働関係も一変するほどの衝撃を与えたし、その衝撃がなければ、これほどまでに農村から人は離れず、これほどまでに農地が広く四角く平らにならず、これほどまでに地球の人口は増えなかつたはずだからである。二〇世紀に地球上でいったい何が起こつたのかを考えるには、自動車と同じほどの知のパトスをトラクターに注がなくてはならない。そのようにわたしは考えている。¹⁰

(藤原辰史『トラクターの世界史』による)

注 *モータリゼーション…自動車が市民生活の中に普及する文化的・社会的状態。

*パトス…ギリシャ語で、感情、情念などを表す。

問一 傍線部1「惹く」という漢字をあてることもできる」とあるが、その理由として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **1**。

① トラクターが文化革新を牽引する役割を担ってきたため。

② 農業用、工業用、軍用といったように、様々な種類のトラクターがあるため。

③ トラクターという言葉が、一義的な意味しか持たないため。

④ トラクターが、赤い糸のように人と人とを結びつける機械であるため。

⑤ トラクターを定義する言語群に魅力を意味するものが含まれるため。

問二 傍線部2「意味深長なネーミング」とあるが、説明として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **2**。

① トラクターが世界中の農地で活躍し、肥沃な土壌を生み出したこと。

② トラクターが農業に使われただけでなく、工業にも用いられたこと。

③ トラクターは非常に高価で、購入するために多くの労働を強いられたこと。

④ トラクターは様々な物を牽引して人々を助けたり、文化・世界を激変させたりしたこと。

⑤ トラクターの研究開発が進み、革新的な機械として進化したこと。

問三 傍線部3「エキチック」を漢字で書く場合、最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **3**。

① 易 蓄

② 役 畜

③ 疫 蓄

④ 腋 蓄

⑤ 賜 畜

問四 傍線部4「慣例に倣う」とあるが、この「倣う」の読みとして最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **4**。

① ならう

② あう

③ おう

④ そう

⑤ トラう

問五 傍線部5「他所」を訓読みする場合、最適なものを選択し、記号をマークせよ。解答欄番号は5。

- ① たそ ② よそ ③ ほか ④ たしよ ⑤ ほしよ

問六 傍線部6「トラクターの小さくない」Aといえよう」とあるが、この空欄Aに当てはまる漢字として最適なものを選択し、記号をマークせよ。解答欄番号は6。

- ① 瑕疵 ② 弊害 ③ 貢献 ④ 役割 ⑤ 活動

問七 傍線部7「手放したくない便利さを存分にもたらしてくれる」とは具体的にどのようなことを指すか。その説明として最適なものを選択し、記号をマークせよ。解答欄番号は7。

- ① トラクターは疲労を訴えず、餌を与える必要もない。

- ② 人々が牛や馬を飼わなくてよくなり、糞尿処理も不要になったため、環境破壊が減った。

- ③ トラクターは排気ガスしか出さず、その重さを生かして土壌を肥沃にした。

- ④ トラクターに乘車できるので労力が軽減され、牧草を調達しなくてもよくなった。

- ⑤ トラクターは休みや栄養を補う必要はなく、日々の手入れもほとんど行わなくてよい。

問八 傍線部8「使い手に不利益をもたらす面もある」とあるが、その説明として当てはまらないものを選択し、記号をマークせよ。解答欄番号は8。

- ① 事故も少なくない上、乗車すると騒音に耐えなければならぬ。

- ② 堆肥を作れず、油をさすなどのメンテナンスが欠かせない。

- ③ 当初は馬や牛に比べて故障が多く、買い換えが必要になる場合が多かった。

- ④ 化学肥料を用いるようになった結果、肥沃だった土地から生命力を奪った。

- ⑤ 燃料を大量に必要とし、人々の金銭的な負担が増えた。

問九 傍線部9「画竜点睛を欠くと言わざるをえない」とあるが、「画竜点睛」の正しい意味を次の①～⑤からひとつ選び、記号を

マークせよ。解答欄番号は 9。

- ① 晴れ晴れとした表情の竜を描いたことから、困難を乗り越えたことを表す。
- ② 描いた竜が勢いよく晴れた空を飛んだことから、活き活きとした様子を指す。
- ③ しるしをつけながら竜の瞳を描いたことから、慎重に物事を進める様子を指す。
- ④ 瞳を描くと竜が昇天したことから、最後に大事な仕上げをすることを指す。
- ⑤ 竜を点描で表現したことから、物事を細かく描写する様子を表す。

問十 傍線部10「自動車と同じほどの知のパトスをトラクターに注がなくてはならない」とあるが、その理由は何か。次の①～⑤からひとつ選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 10。

- ① モーターゼーションがもたらした変革を考える際、すでに論じ尽くされた自動車に注目しても新たな問題が掘り起こされる可能性は低く、むしろこれまで等閑視されてきたトラクターに注目する必要があるから。
- ② モーターゼーションがもたらした変革を考えるには、自動車の本質である人間を他所に運ぶという機能と同時に、トラクターの本質である物品を運搬するという機能にも注目する必要があるから。
- ③ モーターゼーションがもたらした変革を考えるには、トラクターに先んじてすでに存在していた自動車ではなく、二〇世紀の到来とともに発明されたトラクターに着目する必要があるから。
- ④ モーターゼーションがもたらした変革を考えるには、自動車に注目するのみでは不十分で、トラクターに注目することを通じて見えてくる農村に生じた変化を加えて、はじめて十全な検討が可能となるから。
- ⑤ モーターゼーションがもたらした変革を考える際、中心とすべきは何といっても基層社会を形成する農村であって、そこでの変化を知るためには自動車と同時にトラクターにも注目する必要があるから。

問十一 トラクターを定義する場合、最も重要な事柄は何か。次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は

11。

- ① 物を牽引する農作業用の車。
- ② 車輪もしくは履帯を持つ。
- ③ 乗用型、歩行型、無人型がある。
- ④ 動力を他の作業に接続出来る。
- ⑤ 動力源が内燃機関である。

II

次の文章を読んで、後の問に答えよ。

「食べる」ということを考えるとき、やはり料理についてまとめないわけにはいかない。旨い食べ物／不味い食べ物。濃厚な味／淡泊な味。辛い、甘い、酸っぱいもの。料理はいつも感覚のあり方とむすびついている。ここで、フランスの文化人類学者レヴィストロース（一九〇八～二〇〇九）に登場してもらい、彼の提示した「料理の三角形」における、ひとつの論点に光をあててみたい。それは「料理の三角形」では「煮たもの」¹がそれに該当する、基本的に「腐敗」という事象と強く関連した事態にかんしてである。

レヴィストロースの「料理の三角形」、あるいはレヴィストロース自身が示唆するように、それに揚げたものの軸を加えた料理の四面体は、おそらく料理分類の基本であるだろう。この三角形において、ひとつの頂点は「生のもの」であり、自然をそのまま食べるというものであった。これは普通に考えればサラダなどがそれにあたり、ほかにも生肉（タルタル）、日本的な刺身や江戸前の寿司などがこれに該当する。これらには何らかのかたちで味（サラダのドレッシング、タルタルのソース、寿司の醤油）が不可欠であるが、いずれにせよ、²食べる²とき、³食³べる³ことができるものはそのまま食³べる³ということ³は基本的なことであるし、これからもそうでありつづけるだろう。

問題はそれ以外の二つである。それは「火にかけたもの」と「腐敗させたもの」という二つの頂点で示されるものであった。これらは、生のものを「空気」との親和性によって火で調理するか、あるいは「水」との親和性によって腐らせるか、これらいずれかの仕方⁴で自然を文化で処理することであった（もちろん生のものも、タルタル肉がみじん切りであること、刺身が巧妙な細工によって切られていることなど、文化で装飾されている。ここには、当然寄生虫を排除するなどの合理性もあるが、それ以上に文化的な意味がもちろん含まれている）。

ここに油を加えると、いささか微妙な問題になる。油で揚げるといふのは、低温で焼くということだろう。それゆえ、これを火にかけて煮るとの中間形態として設定するのは、正当なようにおもわれる。ただし、それには揚げ物の「衣」という事情が介

在する。「衣」は小麦粉を使っているので、そこにはいろいろの要素が介在する。「衣」はそもそもパンの類いを意味しもあるから。

とはいえ、ここでは生のもの⁵の裏側におかれた単純に焼くことと煮ること、つまり腐敗との対立に焦点を当てたい。そこには、きわめて対称的な事情が介在するとおもえるからである。それはまさに料理の味や旨みにかんして、⁶決定的に異なった二つの方向を描くようにみえる(ただし、あらゆる料理に複数の要素が混じっているのは当たり前のことなので、それには触れない)。

「焼いたもの」(ステーキなど)、それに少しひねりを加えた揚げたもの(フライドポテトなどは、その典型である)を根本にする文化とは、アメリカやイギリス、北ヨーロッパを中心とする文化である(フライドポテトは、フレンチポテトともいわれるようにフランス人も大好きなのだが、それは境界性として許容させてもらう)。ここでは、基本的に食べ物には「味がない」。それゆえ、味を外側から食べ物に付着させることになる。バーベキューを考えれば、いちばんいいとおもう。塩⁷であれ、ケチャップであれ、辛子であれ、何かでそれに味をつける。

これに対して「煮たもの」は、それ自身として「味のある」食事であり、英米圏以外の文明地帯のほとんどを覆っているといつてよい。この「ほとんど」という表現の微妙さは認めよう。たとえば中南米には、いろいろな難しさがある。メキシコやブラジルは豊富な味の世界であり、料理でいえば完全な反アメリカであるとおもう。しかしながら、アルゼンチンやほかの南米諸国は、出自がラテン系であるのに、食事はきわめて英米的である。アルゼンチンとブラジルは隣国なのに、双方の料理のあまりの差異には愕然⁸とするものがある。ブラジルはポルトガル経由の地中海料理に現地調理が混在したようにみえるが、それに対して、人種的にはイタリア系がおおいとされるアルゼンチンは、まさに主食は焼いた肉のみ、というイギリス的なものなのである。

もちろん、太平洋島嶼部⁹やアフリカ地域の食について、ここで何かをいうことはできない。しかしながら、世界が英米のグロバル化に直面しているのは紛れもない事実である。これは一面では、「味がない」料理が世界をセツケン⁸しつつあることを意味している。しかしながら、同時に、それに対抗して、あるいはまさにバランスをとるように、地中海世界、アラブ、インド、中

国、そして日本の料理が世界中に(むろんイギリス、アメリカ、北ヨーロッパにも)波及しつつあることも事実である。これらの料理には、料理そのものに「味」がある。端的に「旨い」のである。私はそれゆえ、どうしてアングロサクソン圏の食事が消えず、そうでない国の料理が「この程度しか」波及していないのか、むしろ不思議さを覚える。

こうしたグローバルな政治性からめぐる議論は、レヴィーストロースの描こうとしたものではまったくない。ただし、私は圧倒的に「腐敗したもの」の「旨み」にまみれた食事をとりつづける日本に住む者として、「腐敗」そのものに関心をもたざるをえない。そして、それをとりいれつつも、対立する「味が無い」現在のグローバル化世界のセッケンにどういふ姿勢をとるべきか考えざるをえない。

繰り返しになるが、フランスはその境界にある。フランスは、半分は北ヨーロッパと同質の「味気なさ」を料理の基本としつつも、地中海方面やアラブ、そして近年では明確に「日本」から押し寄せる「腐敗」の力を貪欲にとりいれている。それに、いうまでもなくチーズ(フロマージュ)は「腐敗したもの」の典型例であるがゆえに、その旨みはフランスの料理にとつて欠かすことが不可能である。

世界三大料理として示されるものは、一般的には、中華料理、トルコ料理(アラブ地中海料理)とフランス料理とされるが、おそらくトルコ——アラブ料理の独自の「煮たもの」性、中華料理の多彩さに対し、フランスはその境界領域における柔軟性こそにもっともおおきな意義がある。そして、少なくとも一九世紀から二〇世紀の世界が、英仏を軸とした政治的対立のなかにおかれたことの反映のように、食においてもフランスは必ず反イギリス・アメリカの側につく。

フランスは、最近はいスラムによるテロの話題ばかりが語られるが、かつてはマクドナルド襲撃が発生した国である。そして、フランス人がオランダ・ドイツを揶揄する話題の代表が、¹⁰ ミシュランガイドにのっている街のおもなレストランが「マクドナルド」であるということは、確かにうなずける。

フランスでのマクドナルド襲撃は、普通は、アメリカ資本主義による伝統文化の「圧殺」という、すべてをネオリベ資本主義で「制圧」していく動きに対する「抵抗」の象徴であるところとえられるし、それ自身は、ファストフード、世界均質基準に合理化さ

れる食品、地域的な個別文化の危機、これらに対する「反逆」ととらえられうる。

だが、実のところ、おそらくマクドナルド襲撃こそが、食事の味を気にしない英米と北ヨーロッパの「腐敗なき文化」に対する、「味＝腐敗」の争いの象徴ではないかともおもえる。そして、この「味なき文化の侵入」と「味をこそ重視する文化の抵抗」は、まさに世界政治的な意味をもっているのではないだろうか。だから、反グローバル化の暴動が「マクドナルド」へと集中するのは、もちろんあのマークがいかにアメリカの世界支配のシンボルにみえることは確かだとしても、一面ではそこでの「味」の問題なのであり、それゆえ、きわめて深い、文化総体にかかわる事例でもあるのではないか。

端的にいおう。焼いたものという「単調さ」を強調するアングロサクソン系の食文化は、均質なお金の価値で世界全体を覆いつくそうとするアメリカ資本主義のあり方そのものを示しているのではないか。それに対して、「腐敗」をもとする料理の世界は、均質なお金の価値では表現できない「何か」を目指す文化圏であるとはいえないか。マクドナルドは資本主義の象徴であるが、その本質は「味のなさ」である。それは、お金には「量」以外の尺度がないことときわめて類似している。アメリカのネオリベラルな大金持ち、とりわけIT企業関係者が、コーラとマクドナルドをこよなく愛し、大金持ちも「質素だよ」というアピールをなすのは、きわめて理にかなっているのではないか。アメリカ資本主義とは、徹底したコーラとピザとマクドナルドの世界なのであり、大金持ちはその信奉者にほかならないからだ。

あえて繰り返しておく。「焼いたもの」の価値は「A」である。それは単純な栄養補給である。そして、「腐敗したものの価値は」**B**「である。それは栄養補給ではない「旨み」である。もちろん、厳密にいえばこの両者を含まない料理は、どこにも存在しない。アメリカのピザはイタリア料理であり、ハンバーガーには腐らせたものの代表である酔潰けのピクルスがいりこむ。そして、かくもマクドナルド襲撃が好きなフランスにとっても、フランス版マクドナルドであるクイックがある始末である(ベルギー由来とのことであるが)。それはそのとおりだ。だが、この二つの軸が示す食と政治をめぐる問題の巨大さを考えずにはすまずことはできないはずだ。

注 *レヴィイストロース：構造言語学などの影響を受けて構造論的方法を導入し、構造人類学を提唱した。

*ネオリベ：ネオリベラリズム(新自由主義)の略。政府などによる規制を最小化し、市場での自由競争を重視する経済・政治思想。

問一 傍線部1「それ」の指示内容は何か。最適なもの^を次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 12。

- ① 酸っぱいもの
- ② 「火にかけたもの」
- ③ 濃厚な味／淡泊な味
- ④ 旨い食べ物／不味い食べ物
- ⑤ 「腐敗させたもの」

問二 傍線部2「いずれにせよ」を文意に即して説明するとき、最適なもの^を次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 13。

- ① 「生のもの」がもつ素材本来の味については、ここではひとまずおくとして
- ② 「生のもの」を食べるとき、どのような調理法を採択するかという点は問わないこととして
- ③ 「生のもの」を食べる際に必要となるドレッシングやソース、醤油などの種類にかかわらず
- ④ 「生のもの」を食べるには何らかのかたちで味が必要となるが、そうした点はともかくとして
- ⑤ 「生のもの」を食べる人それぞれの味の嗜好^{しこう}については、ここでは問題の外におくこととして

問三 傍線部3「火にかけたもの」の「火にかける」とは、「生のものを「空気」との親和性によって火で調理」して「自然を文化で処理すること」と説明されるが、ここにいう「火にかける」の範疇はんちゆうに含まれる動詞は何か。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **14**。

- ① 焼く ② 煮る ③ 炊く ④ 揚げる ⑤ ゆでる

問四 傍線部4「水」との親和性によって腐らせる」とあるが、その説明として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **15**。

- ① 水分を調整して食材の腐敗を保持する
② 水分を適量に保つことで食材を安定させる
③ 水分を利用して食材を分解したり変質させる
④ 水を大量に染み込ませて食材を柔らかくする
⑤ 水の浄化作用によって食材の腐敗速度を遅らせる

問五 傍線部5「生のものの裏側におかれた単純に焼くことと煮ること、つまり腐敗との対立に焦点を当てたい」とあるが、何と何の対立に焦点を当てようというのか。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **16**。

- ① 「生のもの」と「腐敗させたもの」の対立
② 「生のもの」と「火にかけたもの」の対立
③ 「火にかけたもの」と「腐敗させたもの」の対立
④ 「焼くこと」と「煮ること」と「腐敗させたもの」の対立
⑤ 「生のもの」と「火にかけたもの」と「腐敗させたもの」の対立

問六 傍線部6「決定的に異なった二つの方向」とあるが、どのような相違に着目した表現か。最適なものをお次の①～⑤から選
び、記号をマークせよ。解答欄番号は **17**。

- ① 味の有無
- ② 味の濃淡
- ③ 味覚の発達
- ④ 政治思想の差
- ⑤ 調味料の種類

問七 傍線部7「あれ」の活用形は何か。最適なものをお次の①～⑤から選
び、記号をマークせよ。解答欄番号は **18**。

- ① 未然形
- ② 連用形
- ③ 終止形
- ④ 仮定形
- ⑤ 命令形

問八 傍線部8「セツケン」を漢字で表すとき、最適なものをお次の①～⑤から選
び、記号をマークせよ。解答欄番号は **19**。

- ① 切巻
- ② 席巻
- ③ 窃巻
- ④ 説巻
- ⑤ 撰巻

問九 傍線部9「それ」の指示内容として最適なものをお次の①～⑤から選
び、記号をマークせよ。解答欄番号は **20**。

- ① 「味がない」料理

- ② グローバルな政治性

- ③ アングロサクソン圏の食事

- ④ レヴィルストロースの描こうとしたもの

- ⑤ 「腐敗したもの」の「旨み」にまみれた食事

問十 傍線部10「ミシユランガイド」の「の」の「旨み」にまみれた食
事。その説明として最適なものをお次の①～⑤から選
び、記号をマークせよ。解答欄番号は **21**。

- ① 取材者たちの味覚が貧弱なため、アメリカから進出したファストフード店を主要なレストランとして掲載している。

- ② オランダ・ドイツともに全国規模で「マクドナルド」を展開しており、どの街を訪れても必ず見出すことができる。

- ③ ファストフード店にすぎない「マクドナルド」が、あたかも高級レストランであるかのような扱いで掲載されている。

- ④ アメリカ起源のファストフードの味にすっかり魅了され、自分たちの伝統料理として受け入れている。

- ⑤ 自慢すべき伝統料理店と同様の価値を、アメリカから進出したファストフード店に与えている。

問十一 空欄

① は

A

② 香

③ 質

④ 値

⑤ 量

を埋めるのに最適な語を次の①～⑤から選び、それぞれ記号をマークせよ。解答欄番号

以下の問題は、日本文学科・史学科・比較芸術学科の受験生のみ解答すること。

III

次の文章は、江戸時代末期の国学者黒川春村(一七九九～一八九七)が、十三世紀後葉に成立した類書(内容別に事項を分類編纂した百科事典的な書物)『塵袋』(编者未詳)を書き写したものに付した「前がき」の一節である。これを読んで後の問に答えよ。

文の林の繁きを分けつつ、むかし人のかき集めためる言の葉の此の塵袋は、^{*} 塵を添ふと、^{*} 塵添塵袋抄のはしごみに見ゆれば、もし松の葉のちりうせずして、まさきの葛と伝はらましかば、いかで見てしがな得てしがなとて、折節ごとに思ひ出でつつ、近きわたりはいふもさらなり、遠き境まで求め来しほど、近頃始めたる事のやうにおほえて来し方を顧みるに、思ひのほかに年月移ろひ、とをはたみそとも数ふべくなむなりぬる。

ただし、今よりは八年ばかり先に、故信友の伴のをぢより、京上りしてかしこにあるほど、ゆくりなく、此のふみ見つとて、しかしかと聞こえおこせぬ。又、同じ頃、名古屋人加藤のそれがし、消息して聞こえけるやう、塵袋は全く十一卷あり。永正五年の霜月しはすに、高野山無量光院の住侶印融法印といふ聖の自ら写して、巻ごとに奥書せし本、その山寺に近頃までありしを、薩摩の殿人山田一郎左衛門清安といふ人、ゆゑありて伝へもたるを、此の名古屋人神谷喜左衛門克禎、せちに請ひもて、透き写しに写しぬ。其の後、かの薩摩人はふるさともて帰り去にしが、身まかりぬとさへ聞こえたれば、その本はいかがなりけむ、惜しともあたらしともいふばかりなきを、さはいへど、いち早く写しものして、ここにはさながら残れるなむ、めでたき。かの克禎がよいなからましかば、袋にたまらぬ塵ならましを、いとこまやかに書い記しおこせぬ。

かくをちこちより便りを得しかば、俄に年頃の本意かなひぬる心地せられて、まづはうれしき事はむかたなかりき。さるを、いかがはせむ、この頼めし人々、やがて打ちつづき身まかりにしかば、又さらにたづきを失ひ、口惜しけれどせむ術なければ、しばしば思ひくづほれてありしが、なほあやなくなる心癖にて、捨てがたく忘れがたきままに、我が参り通ひ仕へまつれる、みすずかる国の須坂の殿人花廼屋の君は、尾張国の何がし殿ともこよなう睦まじうおはしませば、もしやことなると、御気色をうかがひ、事のやうどもを聞こえ上げしに、ひたぶる心もさすがなれば、いでや計らひ試みてんとて、御心深くとり申させ

たまひて、すみの江の松の久しき望みも、いと速やくなむ、かなひたりける。まことやせちなる思ひを深めて、たゆみなく力を尽くせば、堅き^{いは}敵だにも貫くとかいへるも、今 A 思ひ知られたりけれ。

(黒川春村「塵袋前がき」)

注 * 塙囊抄：文安二年(一四四五)またはその翌年に成立した類書。京都観勝寺の僧、行誉の編。

* 塵添塙囊抄：天文元年(一五三二)に成立した類書「塵添塙囊抄」(編者未詳)。同書の「はしぶみ」(序文)には、既に存在した「塙囊抄」に、「塵袋」から重複を避けて選んだ二百一項を加えて編纂した旨が記されている。

* まさきの葛：常緑の蔓性植物テイカカズラあるいはツルマサキの古名。古代、これを割いて鬘^{かす}とし、神事に用いた。

* 信友の伴のをち：江戸時代後期の国学者伴信友(一七七三～一八四六)。

* 聞こえ：本来、手紙などをやる意の謙讓語であるが、ここでは単に手紙をやるの意の丁寧語・雅語といったニュアンスで用いられている。

* 永正五年：一五〇八年。

* 印融：室町時代の学僧(一四三五～一五一九)。

* 山田一郎左衛門清安：江戸時代後期の国学者、薩摩鹿児島藩士(一七九四～一八五〇)。

* 神谷喜左衛門克楨：江戸時代後期の尾張名古屋藩士(一七八八～一八七二)。有職故実、和算、本草学に通じた。

* みすずかる国：「みすずかる」は信濃にかかる枕詞で、「みすずかる国」は信濃の国をいう。

* 花廻屋の君：信濃須坂藩の老公堀直格(一八〇六～一八八〇)。花廻屋は号。直格の口ききで閲覧が実現した本は、直格

と黒川春村によってそれぞれ書写され、春村書写本はその後所在不明となったが、直格書写本は東京大学総合図書館南葵文庫の所蔵に帰した。春村の「前がき」は南葵文庫所蔵本に付されたもの。

問一 傍線部「松の葉のちりうせずして」の説明として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は

24。

① 「松の葉の」は松が秋になると落葉するさまから「塵」にかかる枕詞であるが、同時にこれと同音の「散り」の意が掛けられており、「塵」すなわち『塵袋』という書物が散逸することなくの意を表す。

② 「松の葉の」は常緑樹である松の属性から「散り失せず」にかかる比喩的な枕詞で、「散り失せず」の「散り」には『塵袋』の「塵」の意も掛けられており、松の葉のように散り失せず（散逸せずに）の意を表す。

③ 「松の葉」は「言の葉」の縁語で、先行する「言の葉の此の塵袋」を介して『塵袋』をさす。「ちりうせずして」は「塵失せずして」の意で、『塵袋』の一卷また断片たりとも「失することなく（完本のまま）の意を表わす。

④ 「松の葉」は眼前に見える景物で、その落葉が辺りを埋め尽くすよう降り積もっているさまから、当時すでに散逸してしまっただと思われていた『塵袋』もこの「松の葉」のように散逸せずに残っていたらなあという願望を表す。

⑤ 「松の葉のちり」は第一義的には「松の葉の塵」すなわち松の落葉の意であるが、同時にすでに散逸してしまっただと思われていた『塵袋』の比喩としての機能も重ねられている。その『塵袋』が失せることなくの意を表す。

問二 傍線部「まさきの葛と」の」との意味として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は

25。

① として

② と競って

③ のように

④ とともに

⑤ に

問三 傍線部3「いかで見てしがな」の現代語訳として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は

26。

- ① どうすれば見られるのか
- ② 何とかして見たいものだ
- ③ 何かの折に見ることもあろう
- ④ 何としてでも見ておきたかった
- ⑤ どうして見ないことがあるのか

問四 傍線部4「思ひのほかに年月移ろひ」とは、どのくらいの歳月か。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。

解答欄番号は 27。

- ① 十年
- ② 十二、三年
- ③ 二十年
- ④ 三十年
- ⑤ 四十年

問五 傍線部5「ゆくりなく」の現代語訳として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 28。

- ① 幸運にも
- ② すぐさま
- ③ ちらっと
- ④ 思いがけず
- ⑤ 通りすがりに

問六 傍線部6「此のふみ」とは何か。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 29。

- ① 塵袋
- ② 壘囊抄
- ③ 塵添壘囊抄
- ④ はしぶみ
- ⑤ 春村の手紙

問七 傍線部7「あなり」は音便形であるが、本来の形は何か。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は

30。

- ① あらなり
- ② ありなり
- ③ あるなり
- ④ あれなり
- ⑤ あらむなり

問八 傍線部8「せち」を漢字で表すとき、最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 31。

- ① 切
- ② 折
- ③ 拙
- ④ 刹
- ⑤ 設

問九 傍線部9「さながら残れるなむ、めでたき」とあるが、めでたいと思う理由として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **32**。

- ① 印融法印が自ら書写した本が、そのまま残されていたため
- ② 克楨が書写した本とともに、清安が得た本もそのまま残されていたため
- ③ 克楨の努力によって、清安所持本よりも原本に近い姿に復元されたため
- ④ 清安が得た本は所在不明となったが、克楨が忠実に書写した写本は残ったため

問十 傍線部10「よい」の意味内容として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **33**。

- ① 能力
- ② 努力
- ③ 力添え
- ④ お膳立て
- ⑤ 深い心づかい

問十一 傍線部11「書い記しおこせぬ」とあるが、その開始部分はどこからか。最初の五文字(句読点も一字とする)を抜き出すとき、最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **34**。

- ① 今よりは八
- ② 京上りして
- ③ 又、同じ頃
- ④ 塵袋は全く
- ⑤ 永正五年の

問十二 傍線部12「頼めし人々」とは誰か。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **35**。

- ① 信友の伴のをちと神谷喜左衛門克楨
- ② 信友の伴のをちと加藤のそれがし
- ③ 印融法印と加藤のそれがし
- ④ 山田一郎左衛門清安と神谷喜左衛門克楨
- ⑤ 神谷喜左衛門克楨と加藤のそれがし

問十三 傍線部13「あやにくなる心癖」の意味内容として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は

36。

- ① 他人から嫌がられるような意地悪な性癖
- ② 周囲の目が気になってしかたがない性癖
- ③ 他人があきれるほどの物わりのよい性癖
- ④ 都合の悪いことに接すると意気消沈してしまう性癖
- ⑤ 我ながら憎らしく思われるような諦めの悪い性癖

問十四 傍線部14「ことなる」の意味内容として最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は

37。

- ① 別物である
- ② 間違いである
- ③ 事が成就する
- ④ 状況が変化する
- ⑤ 特殊な事情である

問十五 空欄 A には係助詞が入る。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は

38。

- ① ぞ
- ② は
- ③ や
- ④ こ
- ⑤ な







